保護者の皆様へ

　大森第一小学校の冬の風物詩「海苔付け体験」が今年度も行われました。新型コロナウイルス感染症が広まる前は３年生以上の学年が毎年体験していましたが、この２年間は３年生のみを対象に実施しています。社会科の学習で地域について調べている３年生にとっては、この海苔と大森町の関係については、たくさんの疑問があるテーマです。前日に多目的室で大森海苔のふるさと館の学芸員小山さんに海苔の作り方や大森の海苔の歴史について教えていただきました。子供たちはお話を聞くと疑問がさらに膨らんだようで、質問タイムでは途切れることなく、挙手が見られました。お話を聞いて、質問を考える子供たちの積極的な姿勢が素晴らしかったです。

　翌日はいよいよ海苔付け本番です。各学級ごとに家庭科室、理科室と移動しながら体験をしました。家庭科室では包丁を両手に持って、海苔を細かく刻みます。リズムよく１分間ほど動かすだけでも「疲れた」という声が聞こえてきました。

　海苔切り体験の後、いよいよ理科室に移動して海苔付け体験です。刻んだ海苔をいよいよ海苔簾に付けます。枡いっぱいに海苔をすくい、パッと木枠の中に勢いよく注ぎます。広がる海苔を見てどのテーブルからも歓声が聞こえてきます。「もっとやりたい！」そんな声が多かったです。子供たちの海苔簾をPTA のお手伝いの皆さんが手際よく家庭科室の海苔干し場に移動し、後は乾くのを待つだけです。翌週、持ち帰った海苔をトースターであぶって美味しく食べたようです。

　子供たちが退室した後は、お手伝いしていただいた PTA の皆さんも海苔付け体験をされました。手作りの海苔を味わう、大森第一小学校ならではの体験を今後も続けていきたいです。お手伝いしてくださった皆様、ありがとうございました。

　令和４年２月４日　　大森第一小学校　校長　尾上　健二